



長野県森林づくり県民税 平成20年度の実績について (年次報告)

平成21年度 第1回 県民会議

H21. 6. 12

長野県林務部

年次報告の公表に向けて

ねらい

- 県民の皆さまに、取組みの内容をPR
- 取組みをさらに広げる

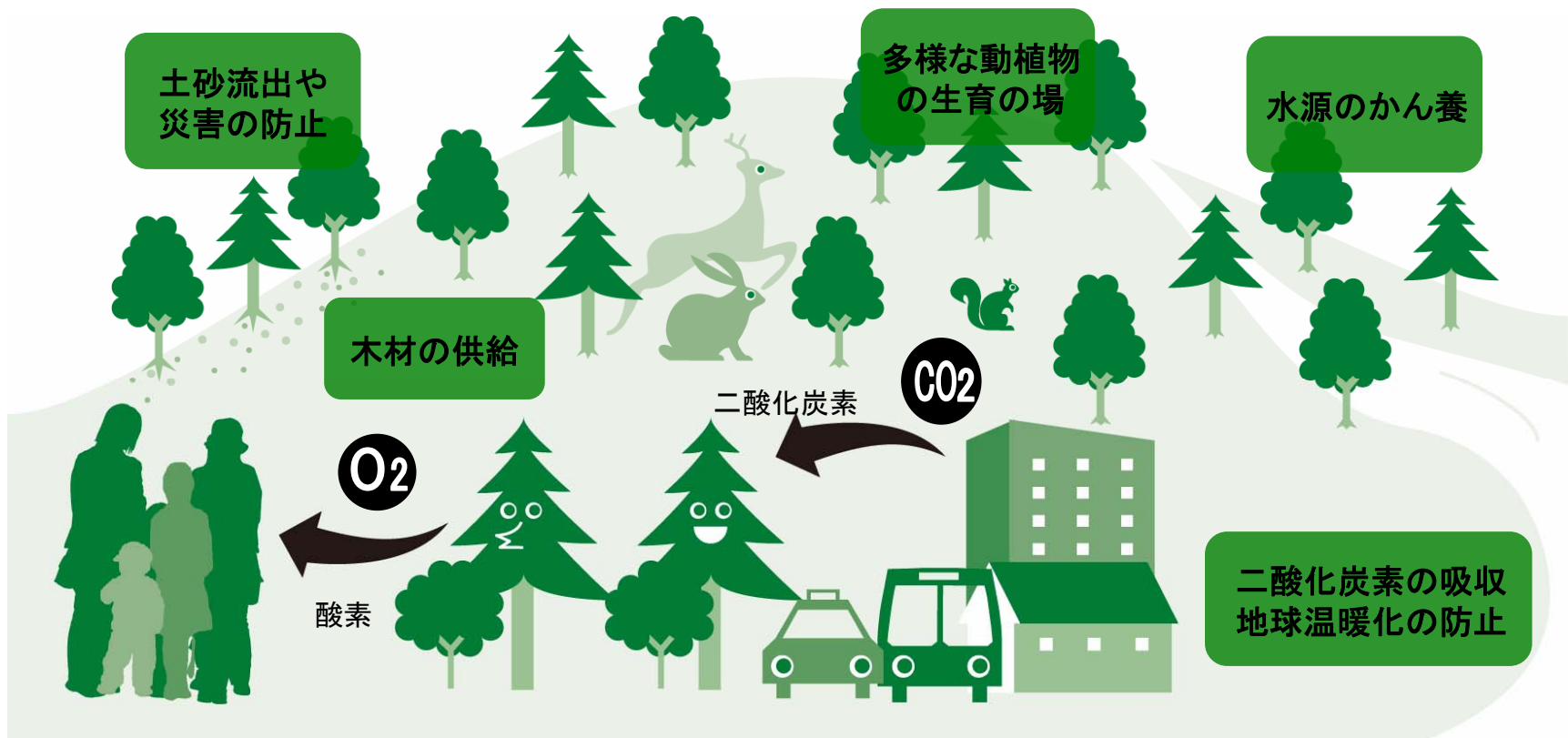
年次報告の構成

1. 長野県の森林の現状と課題
 2. 長野県森林づくり県民税の概要
 3. 平成20年度税活用事業の実績
- その他資料

1. 長野県の森林の現状と課題

(1) 森林の役割

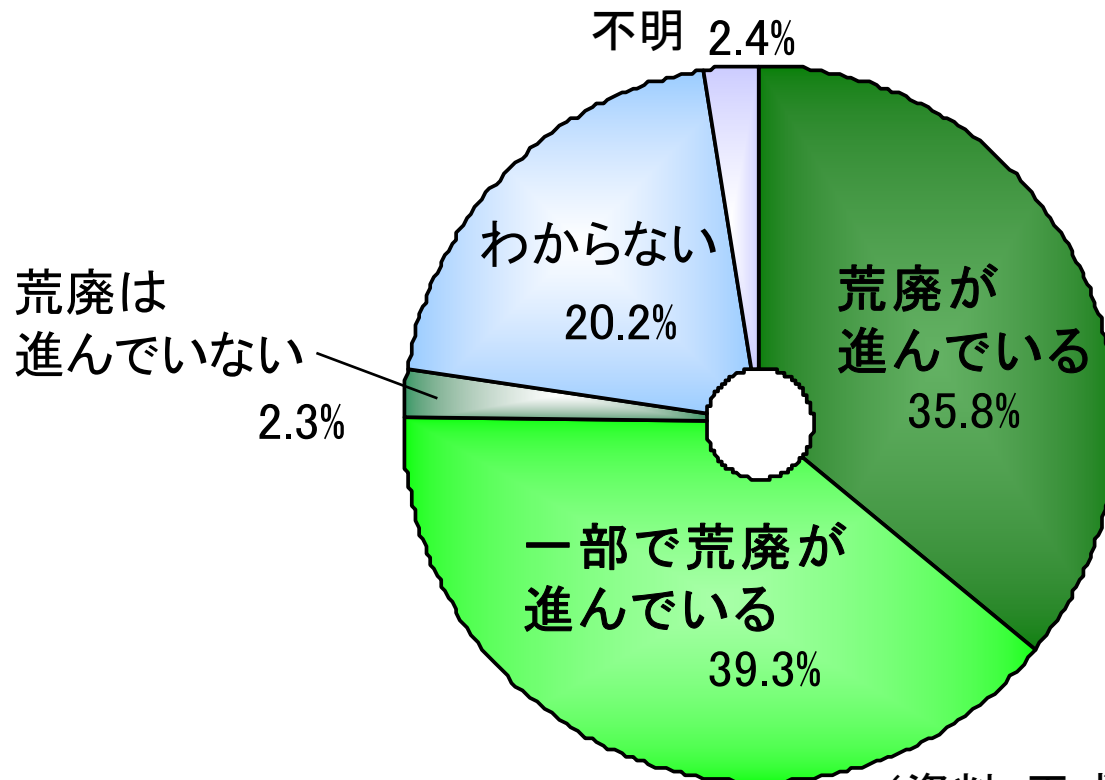
- 森林は『緑の社会資本』です



1. 長野県の森林の現状と課題

(1) 森林の役割

● 多くの県民が森林の荒廃が進んでいると認識

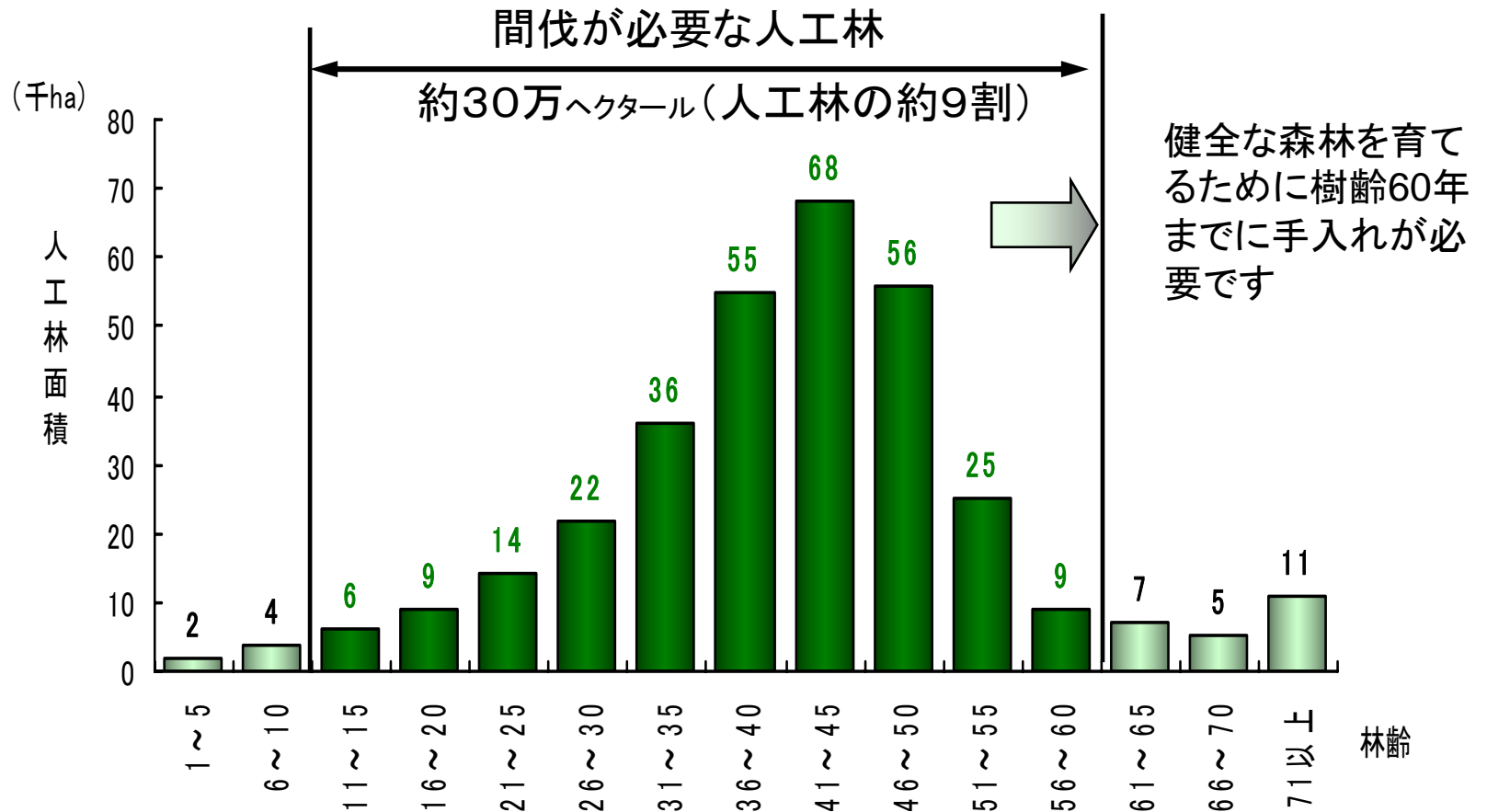


(資料:平成19年度県政世論調査結果)

1. 長野県の森林の現状と課題

(2) 森林の現状と課題

● 森林は適切な整備が必要

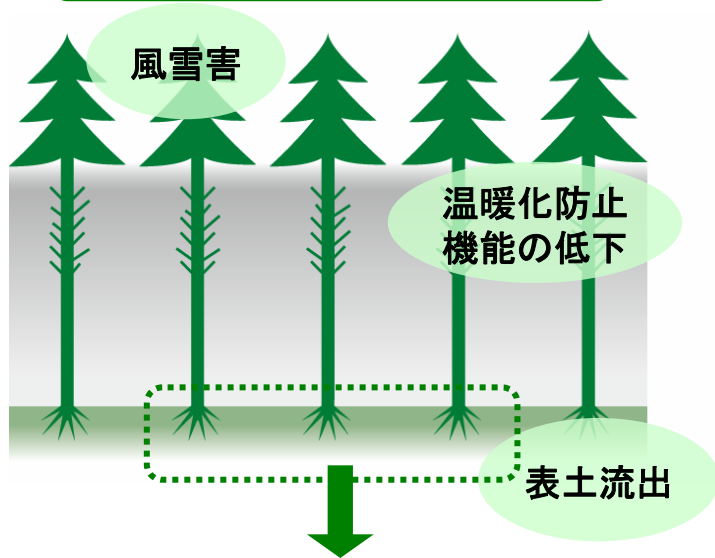


1. 長野県の森林の現状と課題

(3) 間伐の必要性

● 今、間伐のとき!!

間伐されず放置された森林は

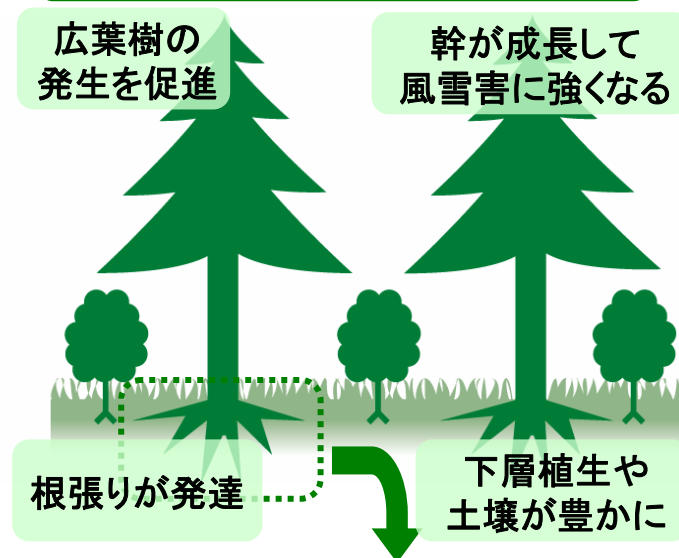


根が細く、水平方向への広がりもありません



間伐により、根の張りが促進され、災害に強い森林になります

適切に間伐が実施された森林は

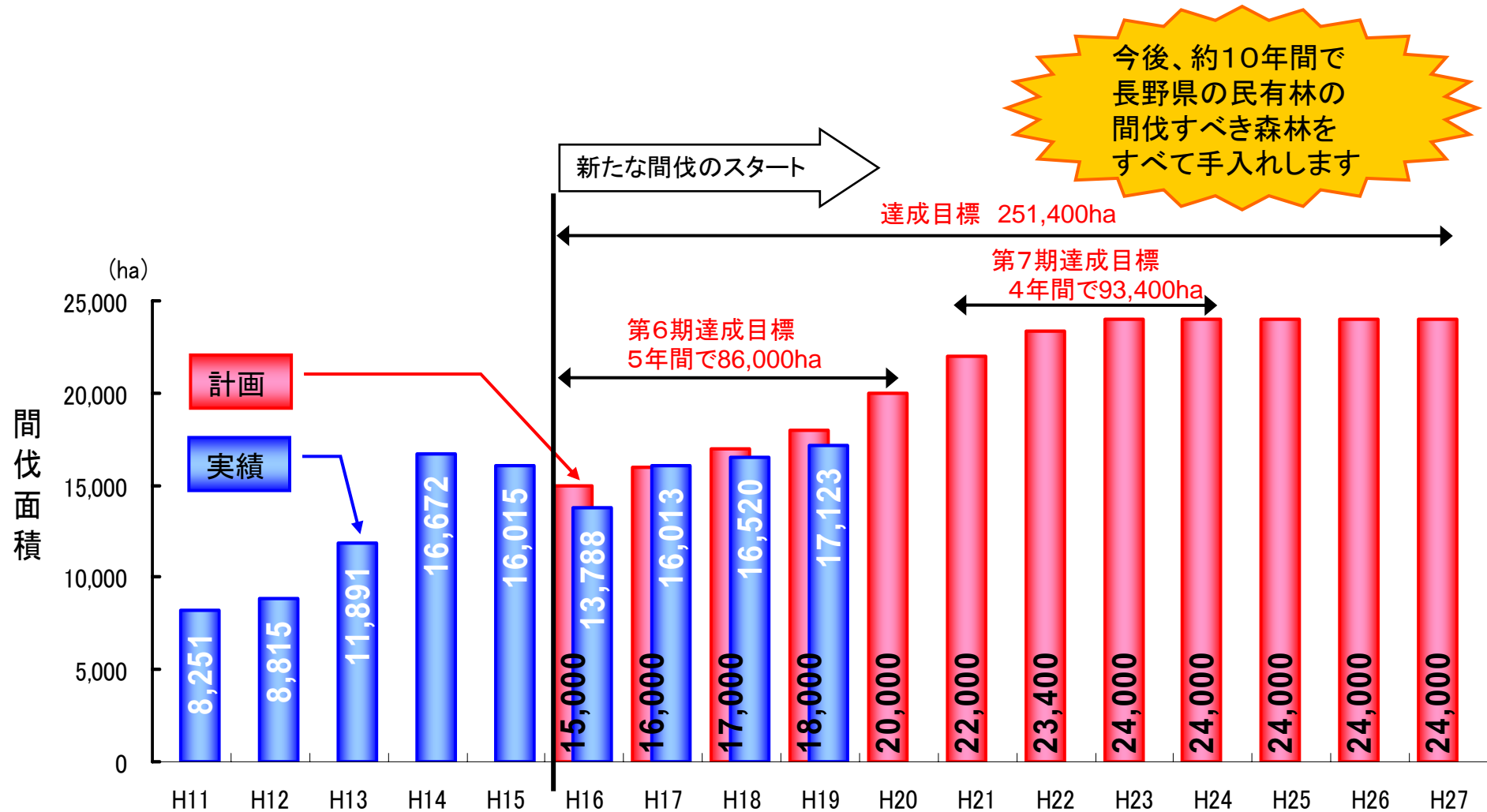


太い根が水平方向へしっかりと広がっています



2. 長野県森林づくり県民税の概要

- 平成20年4月から『長野県森林づくり県民税』を導入しました



2. 長野県森林づくり県民税の概要

● 税活用事業の概要

みんなで支える
ふるさとの森林づくり

税活用 事業1

手入れの遅れた里山での間伐の推進

- 1 みんなで支える里山整備事業
- 2 地域で進める里山集約化事業
- 3 高度間伐技術者集団育成事業

税活用 事業2

地域固有の課題に対応した森林づくりの推進

- 1 森林づくり推進支援金

税活用 事業3

県民や企業の森林づくりへの参加等の促進

- 1 みんなで支える森林づくり推進事業
- 2 木育推進事業

3. 平成20年度税活用事業の実績

活用事業 1

手入れの遅れている里山での間伐の推進

【現 状】

集落周辺の里山は
大半が個人有林

所有規模が小さく
境界も不明確

間伐が進まず
森林の機能低下

間伐実施を支えているのは
森林組合などの林業事業体

【課 題】

地域ぐるみの取組
みが重要です

整備に向けて
事業地の取りまとめ

面的にまとまった
間伐実施

【平成20年度活用事業実績】

2 地域で進める
里山集約化事業

計画 2,000ha 実績 2,500ha

1 みんなで支える
里山整備事業

計画 2,000ha 実績 1,761ha

3 高度間伐技術者
集団育成事業

計画 13事業体 実績 13事業体

3. 平成20年度税活用事業の実績

1 みんなで支える里山整備事業 [間伐実行]

● 森林整備に対する関心が高まりました

事業に携わった皆さんから、次のような声が寄せられています。

- ◆ 間伐が進み、光が入るようになって明るくなり、風通しも良くなった。
- ◆ 間伐作業が目に見えることで、近隣の地区の皆さんからの事業に関する問い合わせがあった。
- ◆ 整備の結果、野生鳥獣被害が減少したように感じる。
- ◆ 整備をした森林がモデル林となり、これから事業を実施する所有者の皆さんにご覧いただくことで間伐後のイメージをしていただきやすくなった。
- ◆ 地域の森林を地域のみinnで考えるきっかけとなった。
- ◆ 間伐材を切り捨ててしまうのではなく、活用したほうが公益性が高まるのでは？

3. 平成20年度税活用事業の実績

1 みんなで支える里山整備事業 [間伐実行]

● 区長さんの音頭で集落近くの段丘を整備

地区名

上伊那郡宮田村掘割地区

関係者

掘割地区、上伊那森林組合、宮田村



整備前



整備後

3. 平成20年度税活用事業の実績

1 みんなで支える里山整備事業 [間伐実行]

● 整備組合を立ち上げ自ら整備

地区名

下伊那郡喬木村氏乗(うじのり)地区

関係者

氏乗里山整備組合



組合の仲間たち



竹藪から竹林へ

3. 平成20年度税活用事業の実績

1 みんなで支える里山整備事業 [間伐実行]

- 自分たちの手で見違えるほどの森林に

地区名

木曽郡上松町神田地区

関係者

神田地区整備組合



整備後の様子



材の一部を有効活用

3. 平成20年度税活用事業の実績

1 みんなで支える里山整備事業 [間伐実行]

● 村全体が一丸となって

地区名 北安曇郡小谷村 全域

関係者 小谷村里山整備推進協議会



整備後の様子



柵池ウッドチップロード

3. 平成20年度税活用事業の実績

1 みんなで支える里山整備事業 [間伐実行]

● 地域の里山を子どもたちに引き継ぐために

地区名

長野市篠ノ井信里(のぶさと)地区

関係者

長野市信里地区里山森林整備組合

木製PR看板



親子で森林整備体験

信里小学校



材の一部を有効活用



3. 平成20年度税活用事業の実績

2 地域で進める里山集約化事業 [条件整備]

● 地域ぐるみの取組みが進み、周辺地区への波及効果もありました

事業に携わった皆さんから、次のような声が寄せられています。

- ◆ 税活用が切り口になって、間伐実施の同意が得やすくなった。
- ◆ 山から遠ざかっていたので、森林に入って自分の山を見るきっかけになった。
- ◆ 面積がまとまったので、間伐の効果が、より分かりやすくなった。
- ◆ 隣接する地区へのお手本となり、相乗効果があった。
- ◆ 地域の森林を地域のみんなで考えるきっかけとなった。

3. 平成20年度税活用事業の実績

2 地域で進める里山集約化事業 [条件整備]

● 区長会長さんが中心となった集約化

地区名 佐久市松井地区

関係者 松井区



地区説明会の様子



間伐実施箇所

3. 平成20年度税活用事業の実績

2 地域で進める里山集約化事業 [条件整備]

- 周辺地区にも反響がありました

地 区 名

小県郡長和町男女倉(おめくら)地区

関 係 者

信州上小森林組合



地元説明会の様子



整備の様子

3. 平成20年度税活用事業の実績

2 地域で進める里山集約化事業 [条件整備]

● 神宮寺100年の森林づくり

地区名 諏訪市神宮寺内山地区

関係者 神宮寺生産森林組合



地元説明会の様子



集約化に向けて現地確認

3. 平成20年度税活用事業の実績

2 地域で進める里山集約化事業 [条件整備]

● 市街地近くのモデル団地の取組み

地区名 松本市中山地区

関係者 松本広域森林組合



整備方針の確認



モデル団地 見学ツアーの様子

3. 平成20年度税活用事業の実績

2 地域で進める里山集約化事業 [条件整備]

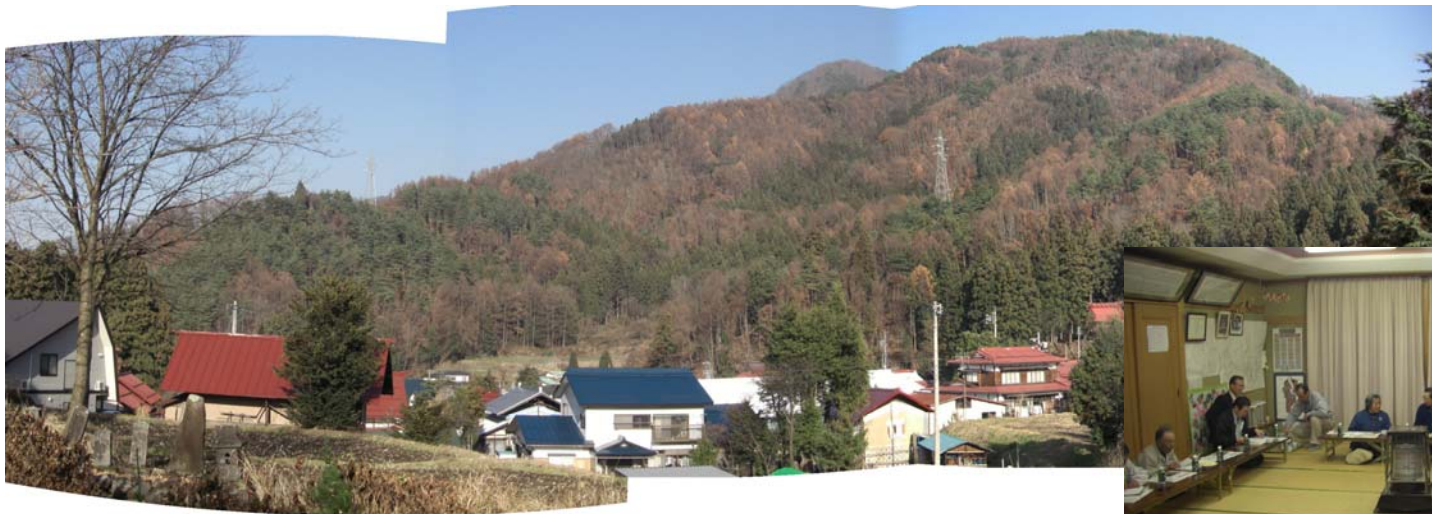
- 森林組合中心に、集落のすぐ裏の里山を

地区名

下高井郡木島平村稻荷地区

関係者

北信州森林組合



稻荷地区全景



地区説明会の様子

3. 平成20年度税活用事業の実績

3 高度間伐技術者集団育成事業 [人材育成]

● 技術力の向上を目指して

プランナー

森林の団地的な管理・経営・企画・提案できる人材

オペレーター

高性能林業機械で効率的に間伐で切る人材



プランナー研修



オペレーター研修

● 継続的な取り組みが必要です

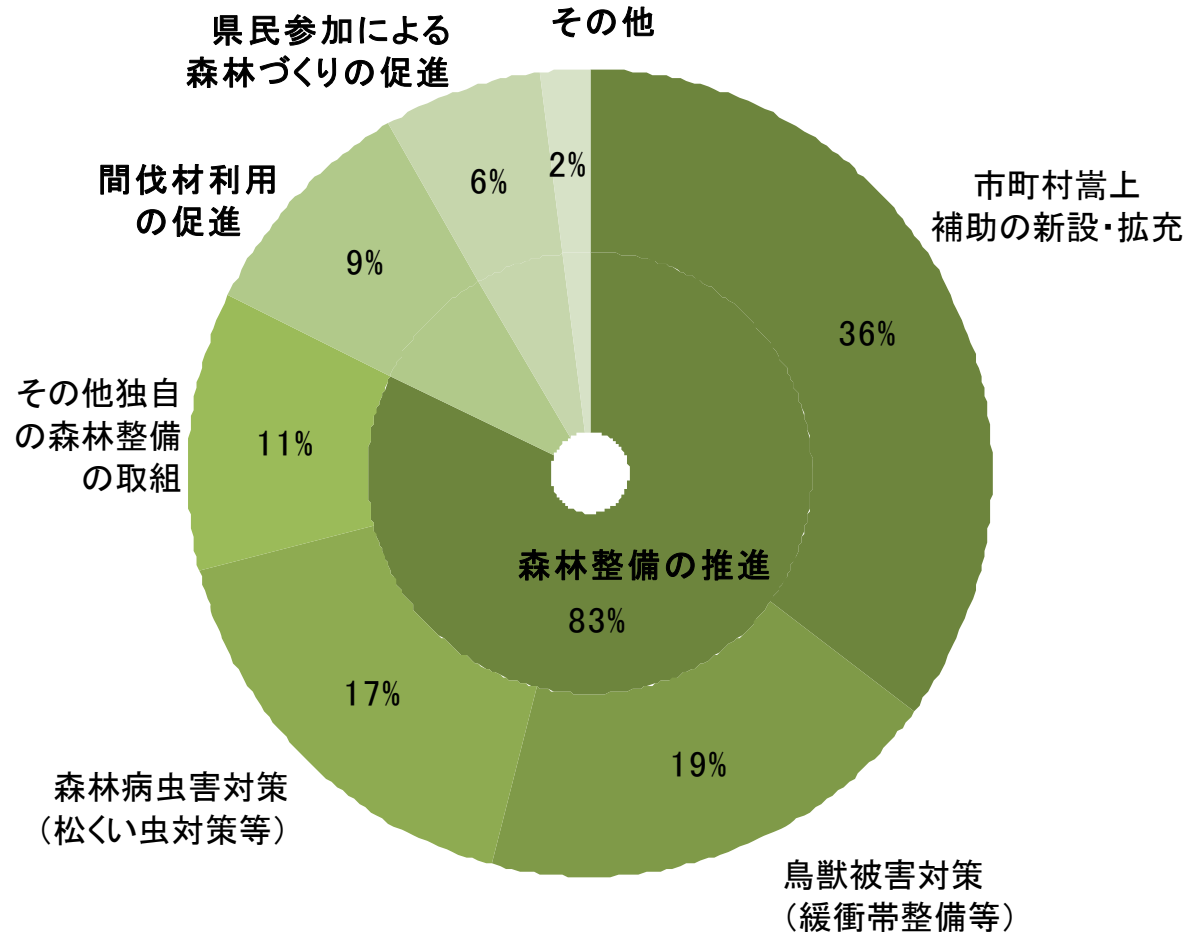
3. 平成20年度税活用事業の実績

活用
事業 2

地域固有の課題に対応した森林づくりの推進

森林づくり推進支援金 [市町村支援]

- 県内81市町村で創意工夫を発揮した取組みが行われました

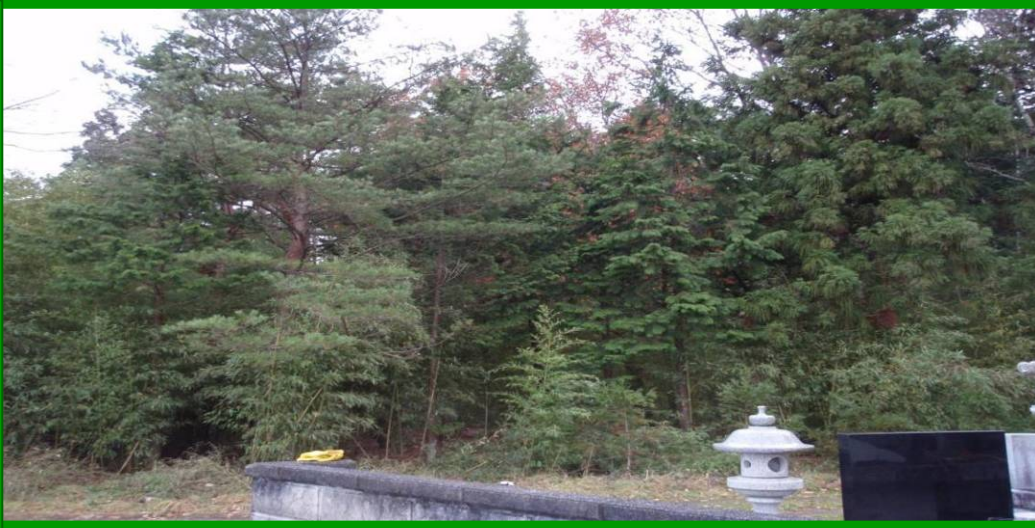


3. 平成20年度税活用事業の実績

森林づくり推進支援金 [市町村支援]

- 地域に根ざした息の長い取り組みに

整備前



野生鳥獣被害防止の
ための緩衝帯整備の実施

整備後



3. 平成20年度税活用事業の実績

活用事業 3

県民や企業の森林づくりへの参加等の促進

【課題】

税事業の周知

税活用事業の内容等の検証

企業の森林づくりへの参加促進

木を通じた学習機会の提供

【対応策】

広報・普及啓発

第三者機関による事業成果の検証

企業等の社会貢献活動を誘導

森林整備への貢献をCO2吸収量で評価

木質バイオマス利用をCO2削減量で評価

木育活動の推進

【平成20年度活用事業実績】

リーフレット等の作成配布県内全世帯に配布

シンポジウムの開催10月に安曇野市で開催

里山整備モデル団地に木製看板等を設置

県民会議の開催(全域の課題)委員10人 3回開催

地域会議の開催(地域の課題)内10地区 各3,4回開催

企業等向けの説明会等実施
森林の里親、新たに12件契約成立

CO2吸収量評価の仕組みづくり4箇所で評価・認証試行

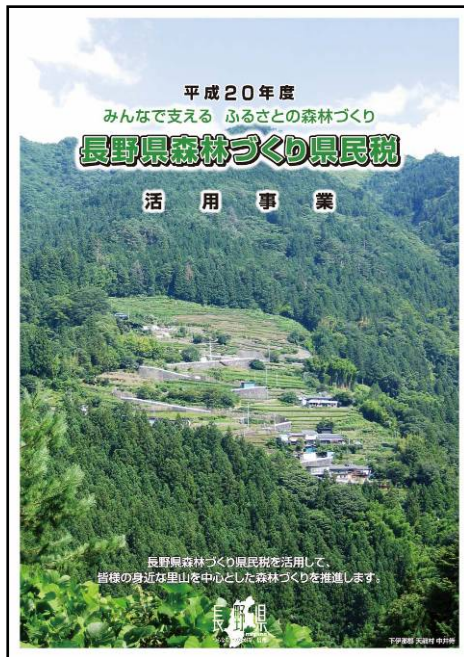
CO2削減量評価の仕組みづくり検討委員会開催と基礎調査

地域の木育活動への支援 10件
県内産木材の資材提供 10件

3. 平成20年度税活用事業の実績

広報・普及啓発

- 今後とも、県民の皆さまのご理解、ご協力が得られるように、さまざまな機会を通じて、広報活動を展開します



リーフレット作成



シンポジウム開催



木製PR看板設置

3. 平成20年度税活用事業の実績

県民会議・地域会議の開催

- 県民会議、地域会議でいただいたご意見が、できるだけ実を結ぶように税事業の取組みなどに活かしてまいります



みんなで支える森林づくり地域会議

34回

学識経験	6名、市町村	11名
林業団体	17名、森林所有者	16名
経済団体	11名、消費者団体	6名
その他（NPO、女性グループ等）		18名
		計85名



みんなで支える森林づくり県民会議

3回

学識経験	3名、市町村	2名
林業団体	1名、経済団体	1名
消費者団体	1名、その他	2名
		計10名

合計 37回開催

3. 平成20年度税活用事業の実績

企業の森林づくりへの参加促進

- 森林づくりへの貢献度を数値化して、さらなる参加促進を



森林の里親促進事業



CO2吸収量認証



カーボンオフセット

3. 平成20年度税活用事業の実績

木育推進事業

● 県産材を通じた学び、交流を促進

【事例1】 飯田市 龍江小学校

資材提供した地域材(遠山スギ)により、保護者が木製体育器具庫を建設



【事例2】 須坂市 豊洲小学校

資材提供した県産カラマツ材により、児童や保護者が校舎内の壁へ設置



平成20年度は “地域ぐるみ”の取組みが芽生えました

